

# 新着図書



人権・男女共同参画課では、男女共同参画に関連した貸し出し用図書(約400冊)を市役所 本庁舎 西棟4階のレストスペース近くに備えています。身分証明書をご持参の上、ご利用ください。

貸出期間  
2週間  
以内

## 『世界中の子どもの権利をまもる30の方法 だれひとり置き去りにしない!』

認定NPO法人 国際子ども権利センター(2019年)

世界の子どもたちがいま直面する問題を解決する、30のアプローチ。SDGs(持続可能な開発目標)を実践的に学べるヒントが満載!子どもと学ぶ!国際理解・権利学習の入門書。

## 『女性から虐待されている男性へ』

アン・シルバース 著、上田 勢子 翻訳(2025年)

社会的な沈黙や「男らしさ」という呪縛もあり、男性自身が問題解決や相談を避けるため、実態がみえにくい女性から男性に対する虐待。その形態と具体的な事例に基づき解明。

## 『ゲノム操作と人権 新たな優生学の時代を迎えて』

天笠 啓祐(2020年)

遺伝情報を書き換える「ゲノム編集」。それは許される行為なのか?私たちは命に優劣をつけることができるのか?制御できなくなった科学技術の差別性と闇を問いつける著者の渾身の警世の書。

## 『魔法を描くひと』

白尾 悠(2025年)

世界中から愛されるアニメーション会社となったスタジオ・ウォレス社が男性ばかりだった時代、「才能」で覆った女性クリエイターがいた。アニメーションの歴史を変えた、「名もなき少女たち」の物語。

## 『ME TIME 自分を後回しにしない「私時間」の作り方』

池田 千恵(2022年)

「誰か」のために時間を使い、「自分」のための時間がなくなってしまう…。朝活第一人者による、今日から一生使えるこの超実践的時間術で、あなただけの「人生の時間割」をつくってみませんか?

## 『シャドウワーク』

佐野 広実(2025年)

繰り返される夫の暴力から命がけで逃れ、シェルターにたどり着いた紀子。ある女性の死の謎を追う刑事の薫。それぞれに迫られる究極の選択とは。身近な者からの暴力と支配、DVの闇を描く戦慄のミステリー!

## 『女性教員・女性校長が語る ジェンダー平等』

佐藤 智美(2025年)

不平等な学校組織や慣習に対して、連帯し、変革をめざし闘ってきた主体としての姿を描き、学校現場の女性教員にエールを送る1冊。

## 『私がフェミニズムを知らなかった頃』

小林 エリコ(2021年)

殴る父と耐える母、ハラスメントの横行、賃金格差、性犯罪に怯えなければならない日常…。かつて疑ったことがなかった「男女平等」は、すべて間違いだったのか?体当たりで掴んだフェミニズムの物語。

## 『[図解]アンガーマネジメント超入門』

安藤 俊介(2018年)

アンガーマネジメントとは、怒りの感情と上手に付き合うための「心のトレーニング」。日本に導入した第一人者の著者による、集大成&入門書決定版!豊富な図解とマンガ、振り返りチェックリストなどで、スッキリ理解できる。

## 『ほしいのは「つかれない家族」』

ハラユキ(2020年)

夫を巻き込みストレスレスな家庭づくりをめざして立ち上がった著者の奮闘記。海外を含め様々な家族を取材し、ヒントを得ながら、「つかれない家族」について考え、実践していく。

○この参画レターは、下関市立公民館をはじめとする社会教育施設(生涯学習プラザ・市立図書館等)に配布しています。

# 下関市男女共同参画レター 20

## 令和7年度 女性に対する暴力をなくす運動 「パープルライトアップ」



オーヴィジョン海峡ゆめタワー



消防局 中央消防署



豊田湖畔公園キャンプ場ビジターセンター



赤間神宮(鳥居、階段、太閤石)



はい!からっと横丁 大観覧車



日清講和記念館

毎年11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です。今年度も市内の6施設にご協力いただき、女性への暴力根絶の願いを込めて、パープルリボンの色にちなんだライトアップを行いました。

## 令和7年度 DV防止講座 「人と人とのより良い関係 ~DV・デートDVを知っていますか~」

### 令和7年11月30日(日) 勝山公民館 2階 第1研修室

プライベート・L代表の松橋 美恵子氏を講師に迎え、DVの種類やDVが与える影響等、DV・デートDVについてデータや実例を交えながらお話いただきました。DVにはサイクルがあり何度も繰り返されること、新しい暴力の形として「デジタル暴力」があることなどの説明もあり、受講者の皆様は熱心に聞き入っていました。



#### 受講者の声

- 実例を出しながらの講義だったので、大変わかりやすかったです。DVに対する意識啓発が、どの世代にも必要だと思いました。(40代、女性)
- 人のより良い関係が具体的に説明があり、私はどう思うか?相手はどう思うか?と一呼吸入れて考えるようにしていきます。(80代以上、女性)

【発行】下関市役所 本庁舎西棟4階 人権・男女共同参画課

〒750-8521 下関市南部町1番1号 TEL 083-231-7513 FAX 083-231-1437

E-MAIL smjinken@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

令和7年度 男女共同参画講座 「みんな違ってみんないい!多様性時代の人間関係形成術 ~アンコンシャスバイアスを学びましょう~」

令和7年8月2日(土) 勝山公民館 2階 第1研修室

有限会社ケイ・アンド・ワイ人材育成部門代表の温品 富美子氏を講師に迎え、「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏ったモノの見方)」をテーマに講座を開催しました。はじめにチェックシートで自分の偏見に気づき、それに対応するためのコミュニケーション方法を学びました。ペアワークを交えた実践的な内容で、相手と良好な関係を築くヒントを多く得ることができました。



受講者の声

- 身近な人、相手と良い関係を築くための具体的な方法を教えていただいたので、早速に日常生活の中で実践していきたいと思いました。(60代、女性)
●自分の中にけっこうこだわり(考え方)がある事を自覚しました。受け入れてゆく気持ちのゆとりを持ちたいと思っています。(80代以上、女性)

令和7年度 ハッピーマイライフセミナー

「伝え方が変わる!コミュニケーション術」 ~表現力を身につけて、日常と職場で信頼関係を築く!~



令和7年11月9日(日) 勝山公民館 2階 第1研修室

声優・ナレーターの田丸 楓氏を講師に迎え、「話し方・伝え方」をテーマにセミナーを開催しました。声のトーンや顔の表情、言葉のニュアンスの違いなど、実践を交えて分かり易く説明があり、改めて伝え方・受け取り方の大切さを実感することができました。

受講者の声

- 人への伝え方や受け取り方も意識することが大切だと分かりました。言葉はニュアンスで大分違うのだと理解したので、今後、活かしていきたいです。(50代、女性)
●声のトーンや顔の表情を自分の気持ちに正直に表現すれば相手に曲解されることがないと気づきました。(60代、女性)

「始まる広がるコミュニティ」 ~現在までの人繋がりと共生のこれから~



令和7年11月22日(土) やすらガーデン 2階 第1研修室

下関市史研究会の亀田 真砂子氏を講師に迎え、「コミュニティ作り」をテーマにセミナーを開催しました。「コミュニティ作りをしていたつもりではなく、好きなことをしているうちにそれぞれの場で人間関係ができ、人生が豊かになった。」とお話があり、受講者の皆様の活動意欲が湧き上がるセミナーとなりました。

受講者の声

- 「コミュニティ」を様々な楽しい視点から考えることができました。(60代、女性)
●いくつになっても情熱をもって活動することの素晴らしさを感じました。(60代、女性)



キラりん☆TALK

今回は、下関市初の女性副市長 大井 裕子副市長にインタビューをしました。



大井 裕子 副市長
国土交通省出身
下関市副市長
(令和7年7月1日付就任)

Q どんなお仕事?

一言で表すと「市長を支える仕事」です。市長代理として市民の皆さんの前に出ることも多いですが、普段は市長と職員の間のカッションになる仕事をしています。前田市長が何を求めているのかを咀嚼し、市長の目指す「希望の街・下関」の姿を実現するための決断がしやすくなるよう、場ならしをすることです。また、市長からは、私のこれまでの経験を基に率直な意見を申し上げることも求められています。

Q 仕事のやりがいと変化したこと

職員の一員としては、市が何か施策を講じたときに、その反応がすぐ分かることにやりがいを感じます。市役所の業務は、市民の皆さんに直接かつ即時に影響を及ぼす仕事です。前所属(国土交通省)では、自分が担当している制度等がどのように使われているかを肌感覚として実感することは難しかったですが、現在は市民の皆さんの顔がすぐ目の前にあり、皆さんの声が届くことに驚きました。また、これまでは特定の行政分野にばかり携わっていましたが、基礎自治体である市役所はあらゆる行政分野を取り扱っており、自分自身の幅も広がっている気がしています。
これまでではドライに物事を考えがちでしたが、市役所の仕事は、きれい事だけではやっていけない、簡単には割り切れないことが非常に多いと考えるようになりました。

Q 力を入れたいことや今後について

市長を支えます!私は、国土交通省に入省後、制度を取り扱うことが多く、道路、住宅、都市計画・まちづくり、建設産業などの分野を中心に携わり、関係団体の方々とも関係が大きい仕事をしていました。そのため、仕事を進める際には、団体の方々も積極的にコミュニケーションを取ることを常に意識して仕事をしてきたつもりです。私のこれまでの経験を活かし、前田市長の目指す「希望の街・下関」を実現するため、力を尽くしていきたいです。 私がここにいることで、少しでも下関の役に立てましたら幸いです。

Q 下関の印象は?

下関は海だけでなく、田園風景もすごく綺麗だと思います!夏に4町を訪れた際、綺麗な緑の稲穂を見て、「このような風景は、地元へ永らく暮らす住民の方々を支えてくださっているんだな」と感じました。秋には歴史的な街並みや寺院仏閣を巡って紅葉を愛でたり、できる限り自分の足で市内を散策しています。下関に来てまだ日が浅い私には観光客としての視点もあると思っています。下関に来て感じていることを周りの皆さんに伝えるのも私の役割かなと。
同時に、下関は過疎問題や、少子高齢化、人口減少など日本が抱えている色々な課題があるとも感じています。これらの課題は、私が省庁所属時にも直面していた課題と同じものです。私のこれまでの経験を糧に、ともに奮闘していきたいです。

メッセージ

下関は地理的に、色々な文化を取り入れて色々な人が交流するまちとして発展してきたと思います。時代時代でエポックメイキングな舞台になり、それがお祭りなどの文化として根づいてるところもあって...。観光資源としても魅力的なものが溢れています。
先ほども言及したように、よく時間があると自分の足で市内を回っているのですが、こんな素敵な場所があるのかとその都度発見があります。でも、周りの人にその話をすると、行ったことがなかったり、そもそも知らなかったりすることも。
私がこれまでお話しした市民の皆さんは、下関が好きで誇りを持っている方々ばかりです。でも、もっと下関市民であることに自信を持っていいのではないかと、下関の隠れた魅力に気付いていないのではないかと感じることもあります。下関のポテンシャルを皆さんと一緒に伸ばしていきたいです。今後とも、よろしくお願いたします。

男女共同参画コラム

「マイクロアグレッション」を知っていますか?

マイクロ...小さなアグレッション...攻撃

自分には悪意がなくても、いつの間にか身についたアンコンシャス・バイアスによって相手を傷つけてしまうことなどを言います。

(例)

- 「外国人なのに、日本語が上手だね」
●「関西の人は面白よね」
●「〇〇出身だから、お酒が強いと思ってた」など...

ほとんどの場合、する側に悪意はありませんが、される側の心に大きなダメージを与えます。

マイクロアグレッションを減らしていくためには、相手のことを考え、自分の中の思い込みに気づく心がけが大切です。